

防災・災害対策とICTに関する技術セミナー

平成23年の東日本大震災においては、災害時におけるラジオの有用性や携帯電話の通信の確保の重要性が改めて認識されるとともに、インターネットサービスとしてのSNSの情報が災害対策への有効性が注目され、その教訓を踏まえて開発されたツイッターの「つぶやき」を分析し、刻々と変わる被災者の困りごとをリアルタイムで自動整理する「対災害SNS情報分析システム(DISAANA:ディサーナ)」が、平成28年熊本地震で提供されるなど、災害対策としてのICTの利活用が進展しつつあります。

熊本地震など大規模災害では、発生直後の避難所等でのネット利用環境整備から、復旧復興に向けた活動のあらゆる場面において、通信・放送の確保が必要不可欠なものであり、そのための研究開発が益々重要となっています。

本セミナーは、30年以内に70%程度の確率で起こるとされる南海トラフ地震への備えを念頭に、防災・災害対策としてのICT利活用や研究開発の状況を紹介し、この分野におけるICT利活用の動向についてご理解いただくとともに、ICTによる新たな課題解決方法等について考える機会とするため開催するものです。

日時：平成28年9月9日（金） 13時30分～17時30分（開場13時）

会場：高知工科大学 永国寺キャンパス A104教室（高知市永国寺町2-22）

プログラム

入場無料 定員80名

1 「遠隔仮想防災訓練シミュレータによる遠隔地訓練への取り組み」

講師：香川大学 工学部／危機管理先端教育研究センター(兼任)

教授 井面 仁志(いのもひとし)氏、助教 高橋 亨輔(たかはし きょうすけ)氏

2 「NICT総合テストベッドの概要について～テストベッドを活用した地域防災研究例紹介～」

講師：国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)総合テストベッド研究開発推進センター

専門調査員 鷹取 耕治(たかとり こうじ)氏

3 「東日本大震災からの復興に向けた取り組み」

講師：KDDI株式会社 復興支援室 室長 阿部 博則(あべ ひろのり)氏

4 「熊本地震について」

講師：一般社団法人九州テレコム振興センター(KIAI) 専務理事 広岡 淳二(ひろおか じゅんじ)氏

5 災害に役立つICTに関するミニ討論会

上記講師の方々と災害に役立つICTについて意見交換等を行います。

<会場案内図>



※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

**お申込み期限
9月6日（火）**

どなたでも参加いただけます。
先着順で定員になり次第受付を終了します。

◆セミナー終了後、A106教室にて
情報交流会(無料)を開催します。(17:30-18:10)

お申込み方法は裏面をご参照ください

<お問合せ先>

四国総合通信局 電気通信事業課(担当:丸岡、吉松)

TEL:089-936-5041 FAX:089-936-5014

E-mail: shikoku-seisaku@soumu.go.jp

お申込み方法

次のいずれかの方法でお申込みください。(お申込み期限：平成28年9月6日(火))

(1) インターネット

四国情報通信懇談会ホームページ (<http://shikoku-ict.jp/?p=5717>) の「申込みフォーム」に入力し送信してください。

(2) 電子メール

下のFAX申込書の内容を本文に入力し、以下のアドレスあてに送信してください。その際、件名を「防災・災害対策とICTに関する技術セミナー参加申込み」としてください。
shikoku-seisaku@soumu.go.jp (四国総合通信局 電気通信事業課)

(3) FAX

下のFAX申込書に記載し、以下のFAX番号あてに送信してください。
089-936-5014 (四国総合通信局 電気通信事業課)

定員を超えるなど参加いただくことが困難な場合を除き、こちらからは御連絡いたしませんので、あらかじめ御了承ください。

FAX申込書

所属・役職	氏名	電子メールアドレス又は電話番号	交流会参加希望の有無

御連絡いただいた個人情報については、本セミナーへの参加申込みの確認の他、今後のICTに関する技術セミナーのお知らせに限り利用します。